

科目名	文学概論 I		英文表記	Introduction to Japanese literature I		2016/3/20			
科目コード	4018								
教員名: 翁長 志保子 技術職員名:						作成			
対象学科/専攻コース	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間			
全学科	4年	必	履修	1単位	講義	前期			
科目目標 【MCC目標】	1) 日本と沖縄の文学史の概要について学ぶ。【Ⅲ-A】国語 2) 沖縄の近現代における文学作品を始めとした様々な表現媒体に触れ、その特徴について学ぶ。【Ⅲ-A】国語 【Ⅶ-E】論理的思考力 3) 作品の解釈についての発表や、議論を通して多様な考え方を知り、他者に自己の考えを伝える方法を学ぶ。【Ⅶ-A】コミュニケーションスキル 【Ⅶ-B】合意形成 【Ⅶ-D】課題発見 【Ⅶ-E】論理的思考力 4) 批評を読解し、批評を実践することを通して、論理的思考を養う。【Ⅶ-C】情報収集・活用・発信力 【Ⅶ-D】課題発見 【Ⅶ-E】論理的思考力								
総合評価	1) 課題テスト: 40% 2) 批評文: 30% 3) 提出物: 30%								
科目目標達成度と JABEE 目標との対応	科目達成度目標(対応する JABEE 教育目標)	達成度目標の評価方法	ルーブリック						
			理想的な到達レベル(優)	標準的な到達レベル(良)	最低限必要な到達レベル(可)	セルフチェック			
	① 日本と沖縄の文学史の概要について学ぶ。(機械 A-1、情報 C-3、メディア C-4、生物 B-1, C-2)	課題テスト: 30% + 批評文: 10%	日本と沖縄の文学史について十分に理解している。さらに、文学史についての知識を生かし、その関係性を前提に批評を行うことができる。	日本と沖縄の文学史について概ね理解している。さらに、文学史についての知識を活かした批評を行うことができる。	日本と沖縄の文学史について理解している。さらに、文学史についての知識を活かした批評を試みることができる。				
	② 沖縄の近現代における文学作品を始めとした、様々な表現媒体に触れ、その特徴について学ぶ。(機械 A-1、情報 C-3、メディア C-4、生物 B-1, C-2)	課題テスト: 10% + 批評文: 10% + 提出物: 15%	沖縄の近現代における文学作品を始めとした表現媒体に触れ、その内容について十分に理解し、特徴をとらえ、批評などの事柄を難なく行うことができる。	沖縄の近現代における文学作品を始めとした表現媒体に触れ、その内容について概ね理解し、特徴をとらえ、批評などの事柄を行うことができる。	沖縄の近現代における文学作品を始めとした表現媒体に触れ、その内容について理解し、特徴をとらえ、批評などの事柄に取り組むことができる。				
③ 文学の批評を読解することを通して、論理的思考を養う。(機械 A-1、情報 C-3、メディア C-4、生物 B-1, C-2)	批評文: 10% + 提出物: 15%	批評を難なく読解することができ、得た知識を用いて、論理的に思考することで、文章の要旨を適切にまとめ、適切な批評を行うことができる。	批評を読解することができ、得た知識を用いて、論理的に思考することで、文章の要旨を概ね適切にまとめ、批評を行うことができる。	批評を読解することができ、得た知識を用いて、論理的に思考することで、文章の要旨を適切にまとめ、批評を行うことができる。					
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	JABEE プログラム名称	機械システム工学	情報通信システム工学	メディア情報工学	生物資源工学
	○	○		◎	JABEE プログラム教育目標	A-1	C-3	C-4	B-1, C-2
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合									
	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物等)	総合評価	セルフチェック		
評価項目		50	0	20	30	100			
基礎的理解	①②	50		20	10	80			
応用力(実践・専門・融合)	①②③				10	10			
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)	③				10	10			
主体的・継続的学修意欲						0			
授業概要、方針、履修上の注意	これまでに学んできた日本の近現代文学などと比較しながら、郷土に関する文学を始めとする様々な作品を鑑賞、読解する。沖縄を扱った作品のなかから、いくつかの作品を選出し扱い、その上で、これらの文学を扱い、論じた批評に触れる。さらに、それらを参考に、実際に批評を行ってみる。								
教科書・教材	『沖縄文学選』(勉誠出版)[適宜抜粋し資料として用意する]、教員作成資料[PPT、プリントなど]								

**授 業 計 画**

週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェク
1	ガイダンス／近現代文学史(1)	2	授業の概要についての説明、日本の文学史の導入。 【Ⅲ-A】文学史についての基礎的な知識の学習を理解する。 日本の文学史について知る。		
2	近現代文学史(2)	2	【Ⅲ-A】文学史についての基礎的な知識の学習を理解する。 日本の文学史について知る。		
3	近現代文学史(3)	2	【Ⅲ-A】文学史についての基礎的な知識の学習を理解する。 沖繩の文学史について知る。		
4	近現代文学史(4)	2	【Ⅲ-A】文学史についての基礎的な知識の学習を理解する。 沖繩の文学史について知る。		
5	近現代文学史(5)	2	【Ⅲ-A】文学史についての基礎的な知識の学習を理解する。		
6	沖繩を題材にした表現(1)	2	沖繩を題材にした映画に触れる。 【Ⅲ-A】実際に作品に触れてみる。		
7	沖繩を題材にした表現(2)	2	沖繩を題材にした作品がどう批評されるのかを学ぶ。 【Ⅲ-A】【Ⅷ-A】【Ⅷ-B】【Ⅷ-E】作品の批評に触れ、どのような論理による解釈があるのかを把握・理解し、表現できる。		
8	課題テスト	2	これまでに学んできた内容の理解を評価する。 【Ⅲ-A】文学史の基礎的な知識の理解度を確認する。		
9	沖繩の文学(1)	2	沖繩近現代文学を読み、その批評に触れる。 【Ⅲ-A】【Ⅷ-A】【Ⅷ-B】【Ⅷ-E】作品を読み、自己や他者の解釈や批評について学び、適切に理解し表現することができる。		
10	沖繩の文学(2)	2	沖繩近現代文学を読み、その批評に触れる。 【Ⅲ-A】【Ⅷ-A】【Ⅷ-B】【Ⅷ-E】作品を読み、自己や他者の解釈や批評について学び、適切に理解し表現することができる。		
11	沖繩の文学(3)	2	沖繩近現代文学を読み、その批評に触れる。 【Ⅲ-A】【Ⅷ-A】【Ⅷ-B】【Ⅷ-E】作品を読み、自己や他者の解釈や批評について学び、適切に理解し表現することができる。		
12	沖繩の文学(4)	2	沖繩の近現代の詩歌に触れ、詩を作ってみる。 【Ⅲ-A】【Ⅷ-A】【Ⅷ-B】【Ⅷ-E】作品を読み、自己や他者の解釈や批評について学び、適切に理解し表現することができる。		
13	批評する(1)	2	沖繩を題材にした表現媒体の中から題材を選ぶ。 【Ⅲ-A】【Ⅷ-A】【Ⅷ-B】【Ⅷ-C】【Ⅷ-E】自己や他者の解釈や批評について、適切に理解し表現することができる。		
14	批評する(2)	2	批評文の書き方を学び、実際に書いてみる。 【Ⅲ-A】【Ⅷ-A】【Ⅷ-B】【Ⅷ-C】【Ⅷ-E】自己や他者の解釈や批評について、適切に理解し表現することができる。		
15	批評する(3)	2	批評文の書き方を学び、実際に書いてみる。 【Ⅲ-A】【Ⅷ-A】【Ⅷ-B】【Ⅷ-C】【Ⅷ-E】自己や他者の解釈や批評について、適切に理解し表現することができる。		
期末	期末試験	[2]			
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23	後期中間試験(行事予定で適宜変更)				
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
期末	期末試験				
学習時間合計			30	実時間	22.5
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)					標準的所用時間(概行)
①					
②					
③					
備考欄					
(モデルコアカリキュラム)					
・ 対応するモデルコアカリキュラム(MCC)の学習到達目標、学習内容およびその到達目標を【】内の記号・番号で示す。					